

# わ が 街 わ が 故 郷

## 宇都宮機器株式会社と宇都宮市

No. 61

### 会社紹介

当社は1953年の創立で、当初エンジン用スモールリテーナーを生産していました。その後1956年、ニードルローラーリテーナーの生産を本格的に開始し、1962年には旧光洋精工株式会社の企業集団に参加し、グループのニードル部門を担当する会社として自動車産業の発展とともに今日まで拡大してきました。

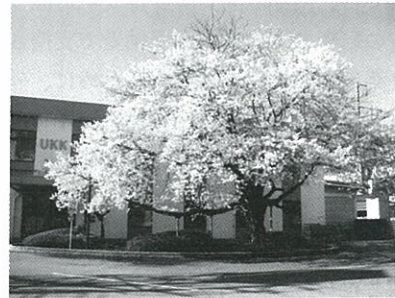
現在は、多様化するお客様のニーズに対応するための技術開発、省エネ・省資源に取り組み、軽量・コンパクトで高付加容量を受けることのできる、地球環境に優しい商品としてのニードルローラーベアリングの製造に取り組んでおります。

近隣では、正面玄関前の「1本の大きな桜の会社」で有名です。

従業員数は234名、工場敷地面積は24,753㎡。



宇都宮機器株式会社全景



正面玄関前

### 宇都宮の紹介

宇都宮は、緑濃い日光連山と鬼怒川の清流に恵まれた栃木県の中央、関東平野の北端、東京から約100kmの距離に位置し、江戸時代には日光街道と奥州街道が分岐する要衝、日光・江戸を控えての防衛の要地として栄えてきました。

「宇都宮」は、約1,600年前宇都宮の始祖、豊城入彦命を祀る二荒山神社が「下野一の宮」といわれており、この一の宮がなまっていっしか宇都宮となったといわれています。

宇都宮市は、平成18年度に市制110周年を迎え、平成19年3月31日には周辺2町と合併し、北関東で初めて50万都市となりました。

また、宇都宮市では、平成17年度から3R (Reduce: 減らす、Reuse: 再び使う、Recycle: 再資源化) 及び地球温暖化対策の推進並びにおもてなしの心の醸成を図るため、「もったいな

い運動」に取り組んでいます。この運動の全国的な推進と市民の意識の高揚と行動につなげるため、全国の自治体やNPO・一般事業者を対象に「第1回もったいない全国大会」を開催しました。この大会の中で、基調講演や事例発表、情報交換などが行われました。

第1回：もったいない全国大会

開催日：平成19年8月28日（火曜日）から29日（水曜日）

会場：栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8）ほか

主催：もったいない全国大会実行委員会

## 宇都宮の名所・名物

### （宇都宮城）

宇都宮城を築いたのは、平安時代後期藤原秀郷とも藤原宗円とも言われており、中世の城主であった宇都宮氏は鎌倉幕府の有力な御家人であるとともに、京都とも繋がりが深く、5代頼綱（よりつな：蓮生）は百人一首の成立にも深く関わっていました。

日本中が戦乱に巻き込まれた南北朝時代から戦国時代、宇都宮城は敵の攻撃に備えるため、堀と土塁を幾重にもめぐらせた守りの堅い城になっていきました。約500年間宇都宮を支配してきた宇都宮氏は、豊臣秀吉に滅ぼされ、その後江戸時代には譜代大名の居城となりました。

宇都宮城は、将軍が日光社参する時の宿泊所であり、本丸には将軍のための御成御殿が建てられました。江戸時代初期、徳川家康の重臣本多正純が2代将軍徳川秀忠の日光社参の際に暗殺を企てたといわれる「釣り天井」の伝説は、水戸黄門のテレビドラマ等になりご存知の方も多いのではないのでしょうか。

通算11家、47代の城主が住んだこの宇都宮城は、1868年（明治元年）戊辰戦争の兵火を浴び

全焼し、さらに第二次世界大戦の時に空襲に遭いほぼ消滅し、一部残った本丸が公園となり、「御本丸公園」として市民に慕われていました。

本年、残った本丸に継ぎ足す形で宇都宮城の一部が復元され、宇都宮城に関する資料を見ることができます。



宇都宮城

### （大谷地区）

大谷石は、約2千万年前に火山活動により生まれた緑色凝灰岩で、宇都宮北西部の大谷地区一帯で採取されます。暖かみのある肌合いが特徴で、軽くて加工がしやすく耐久性にも優れるため、さまざまな建造物に使われており、1922年に竣工した大谷石で造られた旧帝国ホテル（現在は愛知県の「明治村」に保存）が翌年の関東大震災にも耐え、その耐久性が広く認められました。

大谷地区には、全高27mの平和観音や日本最古の石仏（大谷観音）、石造りの街並みなど、付近には見所もたくさんあります。中でも、大谷石採掘場跡の巨大地下空間は圧巻です。地下空洞は、温度が8℃前後と一年を通して安定しており、生ハムを熟成するための貯蔵庫として利用するほか、コンサートや展示会等にも使われています。

また、近くの森林公園周辺では、日本で開催される自転車競技において最高峰に位置する「ジャパンカップサイクルロードレース」が開催され、世界各地からアスリートが集います。

